



メイプル

発行所
兵庫県立
神戸甲北
高等学校
新聞委員会
(神戸市北区
大脇台9-1)

部活、どうしてる？

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために休校措置が取られて3か月、日常の学校生活が奪われ、授業を受けられないばかりでなく、部活動もできなくなっていました。外に出られず孤独を感じずにはいられない状況で、みんなはどんな思いなんだろう。各部の部長に聞いてみた。

女子バレーボール部

4月の始めに体育館でバレーボールの練習をしてから約2か月全くみんなと会えない、バレーができない淋しい毎日を送っています。その上、多くの大会がキャンセルになっていく中、特に三年生はこのまま終わっていくのかとても不安になります。最後までみんなと目標に向かって練習し、最後の大会を迎えられないのがとても悔しくて辛いです。私たちは、近畿大会に出場したいという目標を持って、みんなと今まで頑張ってきました。みんなと笑い、声かけあい、強くなりたいと気持ち二つにしました。この頑張りをもう發揮できないのは、とても悔しいです。今まで通りの最後の試合は無理かもしれませんが、しかし、せめて最後に思いっきりバレー

をして、笑顔で引退したい気持ちでいっぱいです。このメンバーとバレーができる、そんな日が来ることを心から祈っています。(3年山口さん)

女子ソフトテニス部

ソフトテニス部は北区総体、神戸市総体、県大会、その上に続く大会も全て中止となりました。8月の初旬に3年生も出場することが出来る大会がありますが、その大会も開催できるか判断出来ない状況です。部活動は2月下旬から週1回の登校日々時間のみの活動、春休みは多少練習ができましたが、4月初旬からは全く活動出来ていません。部活動が再開した時に早く以前の状態に戻れるよう、部員各自でランニング・筋肉トレーニング・体幹トレーニング・柔軟・縄跳び・素振りな

どをして少しでも体が鈍らないように気をつけています。

学年1人でキャブテンとして2年間練習してきた小林先生を初めてとする先生方、私達を色々な面で成長させてくださった先輩、情けない私に付いてきてくれた後輩、保護者の方々、そして一番支えてくれた家族へ最後の集大成を見せることが出来ず悲しい気持ちです。今回の事で急に当たり前の日々が送れなくなる事を体験し、後輩には日々の練習を楽しく、一生懸命に取り組み、目標である近畿大会に来年は出場

最後の試合がなくなっていく...

女子バレーボール部

今このような状況の中でバドミントン部の活動は行われておらず、3年生の最後の試合である総合体育大会も中止になってしまいました。部員達の意見としては、今まで練習してきたことが最後の試合に發揮できないことが悔しい、みんなと一緒に練習する時間が少なくなったことが寂しいなど様々な意見があります。また、引退についても今後どのようにするのか詳しくは分かっておら

してもらいたいです。(3年西海さん)

卓球部

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため部活動が停止し総体が中止される、はや数か月がたちますが、僕は部活ができないう悔しさを抱えながら過ごしてきました。部活動最後の晴れ舞台である総体に向けて一年生から今まで練習に励み総体で力を出さず引退する。そんなふうに思っています。それが不完全燃焼のままなんとなく引退というのはいやな嫌いです。けれども、どこかでこれ

までの集大成が出せる大会が行われることを願いながら受験に向けて気持ちを切り換えることが今一番大事なことでと僕は思います。これから先コロナウイルスにより様々な困難が待っているとありますがそれを打ち勝ち最後の高校生活を無駄にしないように頑張っていきたいです。(3年久保木くん)

女子バスケットボール部

私たちは本日は行われる予定だった試合が2つもなくなりました。1つは4月に行われる試合でした。もう1つは5月10

の時でも1人1人がラスト総体が開催されることを信じてトレーニングを積み重ねてきました。しかし、中止ということになり正直とても悔しいです。今だから思えることは今まで当たり前練習や試合に出てきたことは当たり前じゃなかったと言っことです。

水泳部

私たちはコロナウイルスの影響で学校が休校中

日から行われる予定だった総体です。毎年当たり前のように行われていた総体が初めて中止になってしまってもショックでした。私たちが最後に試合をしたのは2月の県大会でした。その県大会では悔しい思いをしてあっけなく終わってしまいました。また、全員で試合に挑めたのは12月の時の試合でした。だからこそ、総体にかける気持ちよりも強く、みんな気合いを入れて練習をしていました。また、1年生も春休みのうちから練習に来てくれていました。できることなら5月10日にみんなが試合に出て勝って、いつもの女バスのようにふざけたり、笑い合ったりしたかったです。(3年田畑さん)

総体が中止という結果になってしまいましたが、ラスト総体に向けて1日1日を大切に過ごしてきたので後悔はありません。でももっとみんな練習

したり試合にたりしたかったです。最後にいい結果を残して笑顔で競技生活を終えたかったです。いい結果を必ず出せるという自信があったからこそ本心に悔しいです。ですが、私たちは受験があるので切り替えるのに時間がかかると思いますが次に向かって頑張ろうと思えます。この経験を生かして前に進んでいこうと思えます。(3年栗原さん)